

# 灯



何だか地球全体がおかしな印象だ。世界中で異常気象が懸念されており、地球温暖化防止のため国際会議が開かれたが、これまで二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を散々排出してきた先進国の責任を

問う声も強い。原稿

締め切り直前、バリ協定がようやく締結されたとの報が届いたが、果たしてその

## 国 境



草野 義輔

実効性はどうだろうか。

一方で民族の大移動かと思われるような大量難民が中東から欧州へ流れ込んでいる。自国に住み続けられ命が保証されないので脱出せざるを得ない。そのような国が幾つもあること自体がどこかおかしい。アフリカも部族間の争いが絶えず、アフリカ難民が急増する

この予想もある。

かつて世界史の授業を担当していた。歴史の教科書は記述の多くが領土問題に絡む戦争で、条約を結んで終結を図る、といったことの連続だ。戦勝国がここはわが国のもの、と線引きをした結果が国境である。国境の多くが戦争の結果の線引きなのは歴

史的事実で、話し合っただけで決まったという例はあまり知らない。

その線引きが地球規模で怪しくなってきたことが混沌迷の一因で、日本も例外ではない。過激派組織「イスラム国」という私の理解の及ばない組織も度々耳にし、これは国境を持たない国らしき存在だという。今年は混沌の状態で終わりそうだ。来年は明るさが見えるだろうか。

（昭和学園高校理事・日田市）